

取扱い製品について

国土の2/3を森林が占める日本において、第一次産業である林業は重要な役割を担っています。木材の利用は建築・土木や紙といった生活における必需品も多く、その林業に南星製品は携わっております。木材を切り倒し造材するプロセッサハーベスタ、遠方で伐倒した木材を土場まで寄せる地引ウインチ、スイングヤーダー、集積材をハンドリングするグラップル・木材市場への運搬の為にローダークレーンなどあらゆる林業機械を幅広く取り扱っております。一番の主力である木材用グラップルがモデルチェンジ、地引ウインチも新商品を発売いたします。



[木材用グラップル]

山林で木材を掴む作業で活躍。材を高速に切断することができるグラップルソーもごさいます。



[地引ウインチ]

ショベルに取付け木寄せ作業を行う。力強く、より使い易くを求め、安全面の機能も充実。



[プロセッサハーベスタ]

材の集積、はい積作業を容易にし、立木の伐倒・枝払い造材の生産性を向上。



[スクラップ・産廃用グラップル]

搬入車輛からの引取り、ギロチン・シュレッダーへの投入、製品の取り出し、ヤード内の作業に。



[ケーブルクレーン]

主にダム工事に使用される。(火力発電が騒がれる中、水力発電は今後増えると思われます。)



[浮子投下装置]

河川の洪水時に流速や流量を測定する際、浮子投下機から浮子を落下させる装置。

品質へのこだわり

安全で高品質な製品を皆様にお届けするため、工場では様々な工程を経た後、テスト場で全数検査を行っております。すべての製造工程において、細かなことまで決して疎かにすることなく、南星社員一人ひとりが責任感をもって従事しております。



工場を案内してくださった坂本さんと完成したばかりのスクラップローダ。暑期中、ありがとうございました。



南星特集

Special Feature

OKADA × NANSEI 3rd Anniversary

2020年10月を以って、南星機械はオカダグループに加わり3年を迎えます。今回は【南星特集】と銘打って、皆さまに様々な情報をお伝えいたします。



©2010 熊本県くまモン #K22221

熊本県菊池市はどんなところ？

南星本社がある熊本県菊池市。県の北部に位置し人口48,000人、県民の避暑地である菊池溪谷を有する自然に囲まれた地域です。世界一のカルデラの阿蘇(カルデラの中に町があります)を始め熊本城(日本三名城)、天草があります。会社の周りには、孔子公園、花房飛行場跡(軍用飛行場)、バカボンパパの出身校(七城中学校)があります。



熊本名物

馬刺しだけじゃない、熊本のごちそう

熊本名物と言えば、馬刺し。初代熊本藩主の加藤清正公が朝鮮出兵の際、食糧が底をついたときやむを得ず軍馬を食した事に始まるそうです。その他にも熊本にはまだまだ美味しいものがたくさんあります。今回はその一部をご紹介します。



[からし蓮根]

熊本を代表する郷土料理。麦みそに和からしを混ぜた「からしみそ」をレンコンの穴に詰め、黄色い衣を付けて油で揚げたもの。江戸時代、病弱だった初代熊本藩主・細川忠利公の滋養強壮食として考案されたそうです。



[いきなり団子]

熊本弁では「いきなりだご」とも呼ばれる。輪切りにしたサツマイモと餡(小豆あん)を餅または小麦粉を練って平たく伸ばした生地地で包み、蒸したもので、忙しい時でもすぐ(いきなり)できることからこう呼ばれています。



[太平燕(タイピーエン)]

たっぷりの野菜、海鮮や豚肉などの具材とコシのある春雨がスープと合わさり、あっさりしているのにコクのある味わい。そして欠かせないのが虎皮蛋(フーヒータン)と呼ばれる揚げ玉子。熊本県民のソウルフードです。



[菊池米]

阿蘇の雄大な自然から生まれた菊池川。その水と寒暖差が大きい菊池市の気候からうまれる最高級のお米。粒は小さめで、味・粘り・香りともにバランスが良いのが特徴です。



[菊池メロン]

火山灰が堆積した水はけのいい土壌と、菊池川・迫間川・白川などの豊かな水で潤っており、メロンの栽培に適しています。非常に甘みが強く、食感、食味に優れています。



[旭志牛]

阿蘇外輪山の西側に位置する鞍岳(くらたけ)の麓に広がる町、菊池市旭志。旭志牛は柔らかい肉質、適度な霜降り、ヘルシーかつ上々の食味で満足度の高い牛肉です。

Interview

南星社員のホンネ。

南星機械がオカダグループへ加入して早3年。経営統合によってどのような変化が起こっているのでしょうか！？実際に熊本本社にお邪魔し、各部門のスペシャリストに南星機械の組織、部門の役割、普段のお仕事、今どのようなことを感じているのか、など様々なお話を伺ってきました。

部門ご紹介

生産本部

技術部、生産部、資材部

営業本部

機械営業部、直轄営業部、産機部

ウインテック営業本部

技術部、東京、札幌、長野、新潟

管理本部

管理部（総務課、経理課）

製品について

主力商品は、木材グラップル、プロセッサ、ハーベスタ、地引ウインチがございます。地引ウインチ2機種はこの秋に新型を販売致します。製品はテスト場で全数検査を行い、間違いのない商品をお客様にご提供しております。

3年間の変化

オカダグループに入ったことによる社員の安心感・やる気・待遇アップ・視野の拡大・お客様からの期待、と得た物は数多くございます。元南星OBの方から、社員が明るくなったと言われました。今後もお客様に満足いただける機械・サービスのご提供をできるよう、日々邁進してまいります。



代表取締役 草野 隆弘 社長

今年還暦を迎えるという草野社長。ご自宅では、きゅうり、トマト、オクラ、パプリカなどの野菜を育てているそうです。また、休日はDIYやメダカ（なんと今年は50匹誕生！！）の飼育などもされているとのこと。



技術部

中重 友和 課長代理

● 部門紹介

技術部は10名在籍しており、製品グループによって担当者が割り振られております。70年自社設計を続けていることもあり、そのノウハウが生かされています。

● モデルチェンジについて

地引ウインチNSW-46を林業用（従来はクレーン用）に再設計しました。耐久性が更に向上し、抜群の直引力を発揮します。

● 今後行っていきたいこと

昔の定番を改良した製品は、今の時代には古いと感じます。今後は、時代に合った先進的な設計をしていきたいです。



生産部

坂本 和哉 課長代理

● 部門紹介

生産部では主に製缶・機械・組立に分かれており、材料から出荷まで一貫生産体制であることが弊社の強みです。そのため、製品によっては、お客様からのオーダーメイド仕様にも対応しております。

● 3年間の変化

統合前は、殆どが「受注生産体制」だったため、生産効率が悪く出荷直前までお客様からのご質問に対する正式なご回答ができませんでした。現在は「計画生産体制」を進めており、少しずつ生産効率が向上してきております。



部品課

上島 順之 課長

● 部品課でのお仕事について

以前はCS課（サービス）に所属しておりましたが、部品課の設立に伴い配属されました。まだ、設立1年程ですが、部品発送、見積もり対応と日々忙しくしております。

● 3年間の変化

以前は、部品出荷の専門部署がなく、生産部が工場で製造している合間に出荷している状態でした。部品課設立により、即時対応できるようになったため、お客様をお待たせすることが少なくなったと思います。今後は在庫管理を徹底し、更に体制を整えていきたいです。



熊本営業所

末竹 祐清 所長

● 営業所紹介

比較的年齢が若く、活気がある熊本営業所。本社部門と距離が近いため、出先と比べて情報が入りやすく、営業活動に生かすことができています。

● 3年間の変化

オカダとの経営統合以降は、今までマイナスに考えがちだった事に対しても「どうすればできるか」というプラスの視点で物事を捉えられるようになりました。一人一人がお客様の満足のため、会社への貢献、自身の仕事にプライドを持ちベクトルを揃えることにより良い環境になっていくものと考えます。



ウインテック

松間 正雄 部長

● 部門紹介

ダム建設、発電所工事用等のケーブルクレーンやウインチ、浮子（ふし）投下装置の販売、設計、制作を行っています。

● チームについて

比較的製品規模が大きいので、一つの物件に対し、複数人で役割分担をして作業を行います。当然、チームワークが非常に大事です。皆、仕事に対しては真面目で一生懸命なので、一体感を持って仕事をすることができております。



南星のスゴイ方！

川嶋 光子 さん

十禅寺（2002年までの南星機械本社所在地）時代はクレーン工場でブームの組み立てや溶接もされていた川嶋さん。現在は、南星本社管理棟のお掃除全般や事務所周りのちょっとした剪定もされているそうです。南星機械で一番の先輩で（二番目は高村常務）、娘さんも機械Gに勤務されています。

